

無償の愛は返ってくる

最近、とても感動したことがあ
るんです。仮面ライダーを
やってた当時、いろんな施設を
回って、物資を運んで、子どもたち
を励まし、勇気付けていたことがあ
りました。その当時の子どもたちは、
いまや40代、50代で社会の中枢にい
て、立派な社会人として活躍してい
るんです。以前、奥尻島の災害（※）
のときに救援活動したことがあるん
ですが、奥尻島に物資として冷凍の
お寿司を運んだんです。まだ火が
ぼうぼう燃えて、災害があった直
後だったんです。ボランティアメン
バーと一緒に濃霧の中を飛行機で
飛んでいったんですが、濃霧を抜け
た途端、奥尻島の島が燃えているの
が見えたんです。その中を着陸した
ら、町長や島民が駆けつけてきてく
れて、冷凍の寿司を配って、みんな
に食べてもらったんですね。そのと
きの人の中に小さな子どもがいたん
です。

話は現代に戻って、東京の築地で
テレビの撮影をしていたんです。築
地は寿司屋さんが多いんですね。そ
こで撮影していたら、ちょうど20歳
くらいの青年がわたしの前に飛び込
んできたんです。その姿は
子どもたちの目に焼きついて離れな
いでしょ。だから大いにやるべき
だと思っています。大人や親の姿を
見て、子どもが育つていうのは、
そういうことです。

そして日本全国にローカルヒー
ローが何十万人もいるとなったら、
世界のメディアが必ずとりあげると
思います。日本っていう国はすごい
と。そういうことが日本の国際力の
中でも評価される一つになります。
「へえ、ボランティアがそんなに地
域社会でも浸透しているのか」とね。
これから地域からの力はもの凄く
影響あると思いますよ。地域が活性
化していくことで国が変わっていく
というかね。それぐらいの力がある
と思います。これからも（ローカル
ヒーローは）続けて欲しいと思いま
すね。彼らがいるだけで、まだまだ
日本は捨てたもんじゃないと思いま
すね。

町民全員が家族の一員

地域や町全体が家族だと思わな
くては駄目です。みんな家族
の一員だと思って、他人の子であろ
うと、みんな家族だと思ってね。そ
して、みんながそれぞれの立場で思

仮面ライダー1号 本郷猛

ローカルヒーローのあこがれの存在でもある藤岡弘、さん。
ローカルヒーローが楽しむことを追求しながら生まれていった使命感。
地域にもたらし、子どもたちに与えることができるものは一。

世界中でさまざまなボランティア活動を行ってきた藤岡さんが
愛とローカルヒーローを語る。

ふじおかひろし 藤岡弘、さん 特別インタビュー

ヒーローは、
子どもたちにも
愛と夢と勇気を
与えるんです。

藤岡弘、俳優・武道家

1965年デビュー。1971年「仮面ライダー」で一躍ヒー
ローに。以後、映画やテレビに多数の主演をこなす。
斬（真剣による演武）を行う武道家としても知られ、柔道、
空手、刀道、抜刀道、小太刀護身道など、あらゆる武道
に精通。
民間ボランティア団体の理事も務め、メンバーとともに
国内はもとより世界数十カ国の紛争地域、難民キャンプ
にて救援活動を展開している。

藤岡弘、オフィシャルサイト
<http://www.samurai-hiroshi.com/>



んできて、握手して泣きだして「あ
りがとうございます。ありがとうございます」
ざいます」って言うんです。「実は、
奥尻島で藤岡さんが運んでくれた冷
凍寿司を食べたんです。あんなに美
味しい寿司を食べたことはなかつ
た」あのことが忘れられなくて、今、
自分は、寿司職人にならなくて、こ
こで勉強をしているんです。ありが
とうございました」って泣いている
んです。僕も感動しちゃって：

パワーとかエネルギーというもの
は、人に与えると忘れたころに戻っ
てくるんですね。そんな人たちに
よって自分たちは助けられているん
です。それによって感動して、心
が満たされ、生きがいを与えても
らっているんです。だから逆なん
です。自分は38年ボランティアをや
つてその中で世界を回って、日本も北
から南の施設を訪ねました。仮面ラ
イダーをやっていた当時、いろいろ
やってきたことが、そんなときに思
い出されるんですね。

地域が子どもを育てる

「ぼくは父さんも母さんも死
んじやったけど、地域の
みんながぼくを守ってくれてこんな
に大きくしてくれた。ぼくは地域に

いやる、労わる、慈しむ、奉仕する、
感謝する気持ちを持って。そしてみ
んなが守りあっていく。地域社会と
いうものを元気にして、高めていっ
て、それを子どもたちに見せること
が大切ですね。

サーバント・リーダーという言葉
があります。サーバントは「召し使
い」っていう意味なんですよ。真
のリーダーはサーバント・リーダー
である」と提唱したロバート・グリー
ンリーフというアメリカの学者がい
たんです。つまり、召使いのように
奉仕し、尽くす人。自らが汗をかき、
泥まみれになりながら一緒になって
行動する。そういうリーダーが本当
に人々が迎え入れるリーダー像であ
り、ヒーローだと思います。

※北海道南西沖地震 平成5年7月12
日、北海道奥尻郡奥尻町北方沖の日本
海海底で発生した地震。推定震度6。
奥尻島を中心に、火災や津波で大きな
被害を出した。

返すんだ」と言える子どもに育てな
きゃいけないんです。子どもは地域社
会で育てるっていうね。そうやって
子どもは愛されて育ったときには、
必ずそれを返そうとするんです。命
がけでね。やっぱり連鎖するんです
ね。愛された子どもは愛された分だ
け地域にも貢献します。ところが、
非難し虐待され、無視されたら、や
られたことを全部やり返す。やっぱ
りね、全ては原因があるんですよ。

ローカルヒーローの存在

ヒーローは一人で悪と戦いま
す。自己犠牲の精神で、みん
なのために戦っているんです。

あのヒーロー像が、愛と夢と勇気
を与えるんです。この姿を伝える大
人がいないと、子どもたちは親や地
域に依存してしまいます。「きびし
き愛情」を伝えることがヒーローの
役割なのです。

本当の愛情とは、その人に本当の
真実を伝えてやる。本当の意味をこ
めて怒ってやる。本当に叱ってやる
ことです。

そして地域に近いローカルヒー
ローという存在は、子どもの目には
とても新鮮に映ると思います。
大人が子どもに正しい道や善悪を

インタビュー終了後、藤岡さんはF F Fの代表の坂梨さん
に「坂本龍馬は後年になってその活動が評価されてきた。
今は大変だと思うけど、龍馬のように、未来の子
どもたちのために頑張ってください」とエールを送りました。
子どもたちからのあこがれである藤岡さんの言葉に、
坂梨さんは感動を隠しきれませんでした。

